



# デバイス トラスト

Duo は 2 万を超える組織に採用され、2,400 万を超えるエンドポイントに関するインサイトを提供することで、重要なビジネスアプリケーションへのセキュアなアクセスの実現に貢献しています。

## 課題：

## 可視性と管理の欠如

2019 年に調査対象となった企業の 33% が、デバイスに起因する侵害を経験し、その大多数が大きな影響を受けたと回答しています (『2019 Mobile Security Index』, Verizon 社: <https://enterprise.verizon.com/resources/reports/mobile-security-index/>)。

組織は、デバイスの管理と保護のためにさまざまなソリューションを導入してきましたが、オンプレミスおよびクラウドのアプリケーションにアクセスするデバイスをすべて可視化することにはまだ困難です。また、管理対象 (企業所有) と管理対象外 (BYOD) のデバイスがあり、正常性とセキュリティの状態に基づいてアクセス制御を適用することにも困難を感じています。

エンドユーザーが適切に認証され、役割と権限に基づいてアクセスが許可されている場合でも、使用中のデバイスが電子メールや Web サイトからダウンロードされたマルウェアによる侵害や悪意のあるアプリケーションを使用することによる侵害に対して脆弱であれば、依然として組織が危険にさらされる可能性があります。したがって、効果的な軽減策を実装するには、ゼロトラストセキュリティ戦略を検討する必要があります。この戦略ではビジネスアプリケーションとデータへのアクセスを許可する前にユーザー認証に加えてすべてのデバイスの信頼性を検証します。



ソリューション:

# Duo のデバイストラスト

Duo は、軽量なアプリケーションを使用し主要なデバイス管理システムとシンプルに連携することで可視化とデバイスの正常性を評価する独自のアプローチを採用しています。このアプローチによって、Duo は組織のエンドポイントセキュリティのプログラムにとって欠かすことのできないコンポーネントになっています。

Duo のデバイストラスト機能によって組織が得られる主要なメリットは以下の3つです。

## 01

### データ漏洩を防止

Duo のソリューションによって、ネットワークやアプリケーションにアクセスするデバイスのタイプに関する包括的なインサイトが得られます。セキュリティチームは、これを用いてリスクのあるデバイスをモニタリングしフラグを立てることで、環境をさらにセキュアにすることが可能です。

さらに、Duo のデバイストラストポリシーを使用して、企業所有か個人所有 (BYOD) かに関わらずあらゆるデバイスにデバイス検証ポリシーを適用できます。管理者は、必要なセキュリティ基準を満たさないデバイスによる特定のアプリケーションへのアクセスを簡単に制限できます。サードパーティのエージェントによって侵害が確認されたデバイスへのアクセスをブロックすることも可能です。

## 02

### コンプライアンスを容易に達成

規制対象の業種に属している組織は、最新の IT 環境が、HIPAA、PCI-DSS、NIST などの規制要件に準拠していることを確認する必要があります。さらに世界中の政府が GDPR や CCPA などのデータプライバシー法を導入し、組織に対して顧客の個人情報 (PII) を保護する責任を取るよう規制しています。

Duo を利用することで、コンプライアンスやデータプライバシーに関する法律によって求められている、デバイスのセキュリティの正常性や信頼性に関する要件を満たすことができます。要件としては、ユーザーとデバイスのセキュアな認証メカニズムの実装や、許可されていないユーザーやリスクのあるデバイスによるアクセスのブロックなどがあります。

## 03

### セキュリティと生産性をバランス

セキュリティと生産性のバランスを取ることが重要です。そのためには、IT 部門が管理しやすく、従業員のワークフローを妨げない方法でデバイスの信頼性を検証することが必要です。Duo は独自のアプローチを採用していて、主要なデバイス管理システムと簡単に連携できるようになっています。そのため、どのような規模の組織でも容易に Duo を IT セキュリティプログラムにシームレスに組み込むことができます。同時に、ユーザーエクスペリエンスの最大限の向上、管理オーバーヘッドの最小化、総所有コストの削減を実現できます。

「  
Duo Device Health アプリケーションを利用することで、最も重要なタイミング、つまり、ユーザーが機密性の高いアプリケーションに接続したときに、企業のポリシーをシームレスに適用できます」

**Jason Waits 氏**

Inductive Automation 社 サイバーセキュリティリスク責任者

sales@duo.com

duo.com